

2018年3月22日

株式会社センチュリー21・ジャパン

元登美丘高校ダンス部キャプテン 伊原六花へ

バブリーダンスを共に踊ったダンス部同期とコーチの akane さんが卒業サプライズ！

“仰げば尊し”に乗せた新作ダンスと恩師からの手紙に思わず涙。

おたまたげ卒業サプライズムービー公開

センチュリー21 が、すべての踏み出す人へ贈る。伊原六花 初の WEB ムービー。

動画 URL : <https://youtu.be/cyHREYLRRD0>



株式会社センチュリー21・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：長田 邦裕）は、初代センチュリー21 ガールに就任した元登美丘高校ダンス部キャプテンの伊原六花さんを起用した WEB 動画『おたまたげ卒業サプライズムービー』を3月22日（木）より公開いたします。

今回公開する動画は、今春、登美丘高校を卒業し、初代センチュリー21 ガールとして新たなスタートを切る伊原六花さんを、今年一緒に卒業したダンス部同期 11 人とダンス部のコーチ akane さんが送りだす、エールのサプライズ満載の WEB 動画です。卒業の門出を祝い、披露したのは卒業ソングの定番“仰げば尊し”をリメイクした楽曲を使った新作ダンス。akane さんが振付を担当。バブリーダンスを始め、多くの演目を3年間演じてきた伊原さんが実際に踊っていた数々のダンスの振付からピックアップした新作ダンスです。

黒板への寄せ書きやダンスの披露、akane さんから伊原さんへ宛てた手紙の披露など、サプライズづくしの動画が完成。センチュリー21 はこれからもすべての踏み出す人を応援していきます。

<本動画の見どころ>

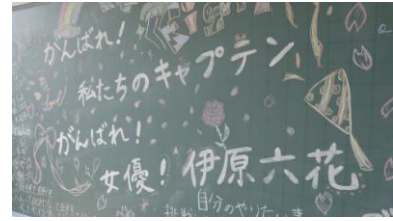
- ・ 元登美丘高校ダンス部キャプテンである伊原六花さんが、この3年間を振り返るインタビューを公開。3年間の悩みや喜びを語ります。
- ・ 初代センチュリー21 ガールに就任し、これから芸能界での活躍が期待される伊原さんを送りだすべく今年一緒に卒業した同期部員がサプライズで登場し、黒板への寄せ書きやこの日のために練習した新作ダンスを披露します。
- ・ ダンス部のコーチである振付師 akane さんがサプライズ登場し、伊原さんに3年間の想いやこれからの活躍を期待する手紙で伊原さんを送りだします。

■『おったまげ卒業サプライズムービー』ストーリー

動画は今回のサプライズのダイジェストから始まります。教室でこれまでの3年間を振り返ったインタビューを受ける伊原六花さん。登美丘高校ダンス部は辛くもあったが、人生を切り開いてくれたもの。と、これまでのいろんな思いやこれからの期待感・不安など、まだ10代の伊原六花さんが感じる様々な思いがうかがえます。



インタビューに答えていると、教室の扉が突然開き、驚く伊原さん。入ってきたのは伊原さんと共に卒業した登美丘高校ダンス部の同期達でした。黒板前まで移動し、被せてあった布を取ると、黒板にはチョークで書かれた彼女達からの寄せ書きがありました。「がんばれ！私たちのキャプテン がんばれ！女優！伊原六花」という書き込みに伊原さんの目には既に涙が。



満面の笑みの同級生の元に駆け寄り、黒板の寄せ書きをひとつひとつ見る伊原さん。そんな伊原さんに、同級生からもう1つの贈り物があることが伝えられます。それは登美丘高校ダンス部を3年間引っ張ってきた伊原さんに向けた新作ダンスでした。楽曲は卒業ソングの定番“仰げば尊し”をリメイクしたものを使用しました。最初は3人だったダンス部同期が、曲が進むにつれて7人、11人と徐々に増えていき、伊原さんは感動のあまりついに泣いてしまいます。最後に屋上で一緒にダンスを踊ろうと、伊原さんを連れて屋上に移動します。



階段を登り、屋上への扉を開けると、そこにはダンス部のコーチである振付師のakaneさんが立っています。既に涙目の伊原さんを見てつられて泣きそうになるakaneさん。卒業サプライズとして、伊原さんへ宛てた手紙を披露してくれました。「キャプテンになってから怒られても泣かなくなった」、「これからも一人でも多くの人に元気や感動をあたえてください。」といったakaneさんからのメッセージに、伊原さんは真剣な表情で応えます。



そして、最後は同級生を含めたみんなからエールを送られ、センチュリー21のジャケットを着せてもらいます。胸元には光るバッジが。最後に伊原さんも加わってみんなとダンスを踊りながら「Start! CENTURY21 GIRL」というテロップとともに動画は幕を閉じます。



■新作ダンスについて

仰げば尊しに乗せて踊った今回のダンスの振付は、話題となったバブリーダンスを始め、多くの演目を3年間演じてきた伊原さんが実際に踊っていた数々のダンスの振付からピックアップしたスペシャルダンスです。ダンスの構成は、コーチのakaneさんが担当。ダンス部同期のメンバーは想い出深いダンスをすぐにマスターし、踊ることができました。



akaneさんは、「今回の作品は、伊原六花に向けてのサプライズダンスで、今までの作品の振付や構成をうまく取り入れて思い出のダンスにしました。サプライズ感が出せるように、徐々にメンバーが増えてくる構成にしている、驚いてくれるかなと思います。」と今回のダンスを紹介してくれました。

■撮影エピソード（裏話）

教室に集まった生徒たちはまず黒板に寄せ書きを始め、それぞれの書いた内容に盛り上がりながらデコレーションも進みます。完成した黒板には寄せ書きとともに「がんばれ！私たちのキャプテン がんばれ！女優！伊原六花」とエールが。

その後のダンスのリハーサルは、和気あいあいとした雰囲気ですが、直前まで細かい調整をする表情は真剣です。akaneさんも登場し、伊原さんがどんなリアクションをとるか予想したりして盛り上がっています。本番前には円陣を組んで「がんばって驚かずぞー！」と掛け声で気合いを入れます。サプライズで登場する前は別の教室でインタビューに答える伊原さんをモニターで見つめる同級生たち。その顔にはどこかサプライズが成功するか緊張感が漂っています。同級生は、今回のダンスの見どころを、「バブリーダンスなどダンス部時代の振付を取り入れているのが見どころです。」と語ってくれました。練習時間も短かったそうですが、特にakaneさんが作ってきた箇所は難しい形もあったようで、その部分では苦労したようです。サプライズダンス終了後は、号泣する伊原さんに駆け寄るみんな。泣きながら「ありがとうございます！」という伊原さんを囲んで拍手が巻き起こります。黒板の寄せ書きを見た伊原さんは、「この絵は誰が書いたの？」、「すごい！これかわいい！」と聞いたりして楽しくみんなで話しています。屋上でのダンスが終わった後も、また泣きながら「ありがとうございます」と話す伊原さん。サプライズは大成功したようです。

■伊原六花さんインタビュー内容

初サプライズの感想は？

初めてサプライズしてもらったんですけど、まったく気づかなかったです。みんなの顔を見た瞬間、安心して号泣してしまいました。

同級生のダンスはどうでしたか？

同級生のみんなが踊ってくれたんですけど、本当に私のためだけに踊ってくれて、嬉しかったです。部活の時はいつも一緒に過ごしていたんですけど、懐かしい感じがしました。

akaneさんの手紙、感動されましたか？

akaneさんがまさか手紙を書いて下さるなんて思ってもなかったです。手紙の内容を聞いて、一年生の頃から（部員がたくさんいる中で）しっかり私のことも見て下さっていたんだなと思い、嬉しかったです。改めてかんばっていきなきゃと思いました。

新生活への意気込みをお願いします。

これから新生活が始まってコーチや同級生となかなか会えない状況になると思います。謙虚に明るく私らしくがんばっていきたいと思います。

■伊原六花さんプロフィール



生年月日：1999年6月2日（18歳）

出身地：大阪府

血液型：A型

身長：160cm

幼いころからバレエやミュージカルなど演劇の習い事に従事し、2013年から2年間劇団RKKに所属。ミュージカル「ズボン船長」ジョジョ姉役を務める。2015年、登美丘高校に入学、ダンス部に入部。ダンス部のキャプテンとして、ライオンズダンス大会 優勝、DCC全国大会 優勝、ダンススタジアム全国大会 準優勝など輝かしい経歴を残す。自身がセンターを務めた「バブリーダンス」は2017年大きな話題となり、多くのメディアに取り上げられた。2018年、登美丘高校を卒業し、芸能界へ本格デビュー。2018年7月放送予定のドラマ「チア★ダン」への出演が決まっている。

■スタッフリスト

クリエイティブディレクター：安谷 滋元（博報堂）

プランナー：江口 貴博（博報堂）

プランナー：藤塚 俊之（博報堂）

プランナー：豊田 啓介（博報堂）

営業：澤井 和明（博報堂）

営業：宮坂 慎之介（博報堂）

営業：田中 沙季（博報堂）

プロデューサー：松村 崇（博報堂プロダクツ）

プロダクションマネージャー：加藤 稜（博報堂プロダクツ）

プロダクションマネージャー：池田 真央（博報堂プロダクツ）

演出：笹谷 卓也

撮影：東 滋文